



$e$  と  $e'$  とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1または2であり、 $d + e = 3$  および  $d' + e' = 3$  という条件を満たす、定着器部材。

#### 【請求項 2】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記化学式中、 $R_3$  は、ジオルガノシロキサン基以外のものである、定着器部材。

#### 【請求項 3】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質は、アミノプロピルメチルシロキシ基によって与えられるアミノ官能性を有する、定着器部材。

#### 【請求項 4】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ - 官能性シロキサン離型剤物質は、N - (2 - アミノエチル) - 3 - アミノプロピルシロキシ基によって与えられるアミノ官能性を有する、定着器部材。

#### 【請求項 5】

請求項 1 に記載の定着器部材において、

前記 T - タイプのアミノ官能性シロキサン離型剤物質は、トリアルキルシロキシ末端基を含む、定着器部材。

#### 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0010】

化学式中、A は、-  $R_4$  - X を表し、 $R_4$  は、約 1 ~ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表し、X は、-  $NH_2$ 、または約 1 ~ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表す  $R_5$  を有する -  $NHR_5NH_2$ 、を表し、 $R_1$  と  $R_2$  とは、同一であっても異なっていてもよく、約 1 ~ 約 25 個の炭素を有するアルキルと、約 4 ~ 約 10 個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 $R_3$  は、約 1 ~ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、それぞれが 1 b 10 および 10 c 1, 000 の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1 または 2 であり、e と e' とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1 または 2 であり、 $d + e = 3$  および  $d' + e' = 3$  という条件を満たす。

#### 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0018】

化学式中、A は -  $R_4$  - X を表し、ここで  $R_4$  は、約 1 ~ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表し、X は -  $NH_2$ 、または約 1 ~ 約 10 個の炭素を有するアルキル基を表す  $R_5$  を有する -  $NHR_5NH_2$ 、を表し、 $R_1$  と  $R_2$  とは、同一であっても異なっていてもよく、約 1 ~ 約 25 個の炭素を有するアルキルと、約 4 ~ 約 10 個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 $R_3$  は、約 1 ~ 約 500 個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、b と c とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、それぞれが、1 b 10 および 10 c 1, 000 の条件を満たし、d と d' とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1 または 2 であり、そして e と e' とは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1 または 2 であり、そして  $d + e = 3$  および  $d' + e' = 3$  という条件を満たす

。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

化学式中、Aは- $R_4-X$ を表し、ここで $R_4$ は、約1～約10個の炭素を有するアルキル基を表し、Xは- $NH_2$ 、または約1～約10個の炭素を有するアルキル基を表す $R_5$ を有する- $NHR_5NH_2$ 、を表し、 $R_1$ と $R_2$ とは、同一であっても異なっていてもよく、約1～約25個の炭素を有するアルキルと、約4～約10個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 $R_3$ は、約1～約500個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、bとcとは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、それぞれが、1 b 10および10 c 1, 000の条件を満たし、dとd'からは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1または2であり、そしてeとe'からは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1または2であり、そして $d+e=3$ および $d'+e'=3$ という条件を満たす。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

化学式中、Aは- $R_4-X$ を表し、ここで $R_4$ は、約1～約10個の炭素を有するアルキル基を表し、Xは- $NH_2$ 、または約1～約10個の炭素を有するアルキル基を表す $R_5$ を有する- $NHR_5NH_2$ 、を表し、 $R_1$ と $R_2$ とは、同一であっても異なっていてもよく、約1～約25個の炭素を有するアルキルと、約4～約10個の炭素を有するアリールと、アリールアルキルと、からなる群よりそれぞれ選択され、 $R_3$ は、約1～約500個のシロキサン単位を有する置換ジオルガノシロキサン鎖であり、bとcとは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、それぞれが、1 b 10および10 c 1, 000の条件を満たし、dとd'からは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1または2であり、そしてeとe'からは数値であって、同一であっても異なっていてもよく、1または2であり、そして $d+e=3$ および $d'+e'=3$ という条件を満たす。